［吉敷ふれあい標語 2025］　未来へと　笑顔でつながる　吉敷の輪

ふるさとだより よしき

FURUSATO DAYORI　YOSHIKI

吉敷の木「もみじ」
吉敷の花木「うめ」
吉敷の草花「マリーゴールド」
吉敷の草花「サルビア」

2025
12
No.837

たくさん食べてね!JA賞お米3kg
～吉敷ふるさとまつり おたのしみ抽選会～

おおとりさくら学級 6年ぶりの出店!
～吉敷ふるさとまつり 会場の様子～

消火はぼくにまかせて!!
～吉敷ふるさとまつり 吉敷地区防災会水消火器体験～

日頃の成果を発表!
～吉敷ふるさとまつり 講座室展示の様子～

CONTENTS

インフォメーション…… 2
第9回「よしきフォトコンテスト」カメラを持って出かけよう!…… 3
【トピックス❶】クマに注意!吉敷の住宅地でクマを目撃!!…… 4
【トピックス❷】幅広い世代のふれあいと交流の場「悠々ふれあいフェスタ」…… 4
レポート…… 5
【地域のチカラ】地域の治安維持・安心安全拠点「山口警察署」…… 6
読者発なんでも広場…… 6
【ふれあいのまち吉敷】吉敷地区防災会…… 7
【吉敷の福祉・健康】ヤングケアラーと8050問題について…… 7
イベントカレンダー…… 8
かけはし…… 8

よしき人 Yoshiki Bito

YOSHIKI DATA　【人口】14,532（前月比 －18）【世帯数】6,510（前月比 ＋2）　令和7年11月1日現在

インフォメーション

12月1日から全国一斉に始まる「歳末たすけあい募金」

毎年、多くのご協力をいただき、ありがとうございます。

この募金は、年末年始にかけて支援が必要な方や、交流行事への支援を通じて地域のつながり・支え合いに使われています。

今年も皆様のあたたかいご協力をお願いします

手づくり竹灯籠体験会

地元の竹林で伐採した竹を使い、手づくりの竹灯籠を作ってみませんか?また、大晦日に設置し火入れ式を行い新しい年を迎えましょう!

【とき】 竹灯籠製作日時：12月21日(日)13時～16時30分
火入れ式：12月31日(水)20時～・23時～(時間帯をどちらか選択)
【場所】 集合場所：両日とも玄済寺駐車場(作業が出来る服装で集合)作業場所：祐寿会「つなぐ」
【募集定員】 20名程度
【申込】 要(12月13日(土)締切)
【参加費】 500円／人(備品・お茶・保険料)
【申込・問い合わせ】 よしき軽井沢通り実行委員会準備室(植野まで)
☎090-1187-0791

しめ縄づくり体験会

地元講師が伝承する「しめ縄づくり」で、自作のしめ縄飾りで新年を迎えましょう!「しめ縄」の習わしや作り方を学び、同時にその伝統を継承する担い手を育成する取組に参加してみませんか?奮ってご参加ください!

【とき】 12月28日(日)10時～12時
【場所】 祐寿会「つなぐ」(悠々苑内：吉敷佐畑4丁目8-1)
【申込】 要(12月20日(土)締切)
【募集定員】 10組程度(2人1組※一人での参加も可)
【参加費】 500円／人(材料費・お茶代)
【申込・問い合わせ】 よしき軽井沢通り実行委員会準備室(植野まで)
☎090-1187-0791

春の七草がゆ

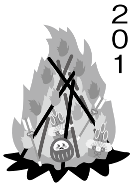
毎年恒例の春の七草がゆをふるまいます。お正月料理で疲れた胃袋を、やさしい七草がゆでいやしませんか。フーフーしながらみんなで暖まりましょう。

【とき】 1月7日(水)10時30分～13時
【場所】 地域交流センター 研修室
【申込】 不要
【講師】 食生活改善推進員
【問い合わせ】 地域交流センター
☎083-922-3915

子ども会のどんど焼き

一年の無病息災を祈願する毎年恒例のどんど焼きです。

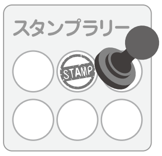
【とき】 1月12日(月・祝)
①9時～9時30分 どんど焼き
②9時30分～ ビンゴゲーム
③10時～ ぜんざい・おもち接待
【場所】 ①良城小学校グラウンド
②・③地域交流センター
※小雨決行(雨天中止)
※お正月飾りは、針金、プラスチック、みかんなどは外してお持ちください。
【申込】 不要
【主催・問い合わせ】 子ども会育成連絡協議会 村上竜司
☎090-2007-3201



街道ウォークスタンプラリー参加者募集中

10月号に掲載した街道ウォークスタンプラリーが12月は次の通り開催されます。ぜひ、お申し込みください。

【とき】 12月14日(日)
【場所】 地域交流センター9時集合
【その他】 3日前までに要予約。その他詳細は10月号をご確認ください。
【問い合わせ】 吉敷地域文化振興協議会
☎083-922-3344



市文化交流課からのお知らせ

山口市美術展覧会に出品しませんか。令和8年3月1日(日)～3月8日(日)に山口市民会館で「山口市美術展覧会」を開催します。この機会にあなたの作品をぜひご応募ください。出品規格等は、開催要項またはウェブサイトをご覧ください。

【問い合わせ】 市文化交流課
☎083-934-2717
※開催要項は、文化交流課、各総合支所、各地域交流センター、山口市民会館等に設置しているほか、市ウェブサイトに掲載しております。

昨年は吉敷の方が入賞されています。

山口市地域クラブ指導スタッフ募集

令和8年9月から部活動に代わって、市内在住の中学生が参加することができる「山口市地域クラブ」の指導者及び指導補助者として、登録していただける方を募集しています。

地域の中学生のスポーツ・文化芸術活動を一緒に支えませんか。

【申込・問い合わせ】 山口市部活動地域移行推進室左記二次元コードから
☎083-934-2672

第９回「よしきフォトコンテスト」カメラを持って出かけよう！

よしきフォトコンテスト実行委員会では、引き続き、第９回フォトコンテストを開催しています。

フォトコンテストのテーマは、「若い世代とともに築く　笑顔あふれるふれあいのまち　吉敷」です。

吉敷には交流の場がたくさん 美しい自然にも恵まれています

吉敷地域では、年間を通してお祭りやイベントが開催されるなど、交流の機会がたくさんあります。

また、鳳翩山のふもとには吉敷川が流れ自然豊かな地域で、四季折々の風景が楽しめます。

吉敷でふれあい、交流する人々 美しい風景の写真を大募集

吉敷の魅力満載の写真を募集します。募集作品は次のとおりです。

- 吉敷でふれあう人々の写真
- 吉敷で開催されるイベント等で交流する人々の写真
- 四季折々に姿を変える吉敷の美しい風景

もっと広めたい吉敷の魅力 新たな交流のきっかけへ

写真を自分で撮ることで、吉敷の歴史を身近に感じたり、誰かが撮った写真を見ることで、吉敷の魅力を新たに発見することがあるかもしれません。

フォトコンテストをきっかけに、より多くの方がイベントや行事に参加して、家族や友人とふれあいや交流を深めてもらえることを期待しています。

各賞を準備して 多くの作品をお待ちしています

入賞作品は、イベント会場や地域交流センターなどで展示し、地域の皆さんにお知らせします。第８回は２２８点の応募がありました。

どなたでも応募できますので、多くの応募をお待ちしています。

地域住民の声を形に 受賞作品のリーフレット作成

フォトコンテストは、良城商工会振興会の全面的な協力を受け、実施しています。良城商工振興会や実行委員、地域住民の意見を元に、フォトコンテストを地域の方に広く知ってもらうためのリーフレットを作成して全戸配布し好評を博しています。

フォトコンLINEで 気軽に応募できますよ！

スマートフォンで撮影した写真を気軽に応募できるように、フォトコンLINEを開設しています。楽しい思い出を残すために「撮ったらLINEで送ってみませんか。」皆さんたくさん応募してくださいね。

忘れないでね!
- 作品タイトル
- 撮影場所
- 撮影月
- 応募者名
- 年齢
- 住所
- 電話番号

【募集期間】
・２０２６年10月22日(木)まで

【応募規定】
・どなたでも応募できます。
・カラープリントL判で縦横自由。
・撮影場所が吉敷で、自作・未発表のもの。２０２４年11月から２０２６年10月までの間に撮影した写真に限る。
・意図的に合成・加筆・削除した写真や組み写真・台紙貼り等の写真は不可。
・応募は一人12作品までとし、作品は返却しません。

【応募方法】
・応募票（コピー可）に、必要事項を記入し、作品の裏面に貼り付けて郵送または持参してください。応募票は実行委員会に設置しています。
・Eメールの場合は、応募票をウェブサイトからダウンロードし、必要事項を入力のうえ、作品データと応募票を送付してください。
※肖像権の侵害が生じないよう、応募者の責任で確認してください。

【発表】
・２０２６年12月

【応募・問い合わせ】
よしきフォトコンテスト実行委員会
山口市吉敷佐畑一丁目４番１号
☎０８３-９２２-３３４４
yoshiki-photocon@bz03.plala.or.jp
https://www.yoshikibito.com/
吉敷フォトコンLINE
※応募に関する詳細は、応募チラシやウェブサイトで確認いただけます。

トピックス1

クマに注意！吉敷の住宅地でクマを目撃!!

10月23日(木)以降、吉敷地域においてクマの目撃が4件続きました。吉敷畑・赤田・上東・佐畑で立て続けに目撃され、佐畑では良城小学校付近で目撃されたことから、子どもたちも不安に感じています。地域の皆さんが被害にあわないために、どういった対策ができるのでしょうか。

県が緊急対策会議を開催

10月30日(木)に、地域交流センターにて県主催でクマの緊急対策会議が開催されました。

良城小学校・鴻南中学校、警察や市などの関係機関が参加し、クマの目撃状況や地域内の安全対策についての情報共有が行われました。

吉敷での安全対策

良城小学校付近での目撃後、小学校・中学校、警察や市が連携して、見守りを強化し、パトロールを実施しました。

また、市では防災行政無線、広報車やチラシなどを活用し、地域の方に周知や注意喚起を行いました。広報車を活用してパトロールを実施することで、クマを人里から遠ざけ、山へ追い払う効果もあるようです。

被害にあわないために

クマの被害にあわないために、次の点に注意して行動しましょう。

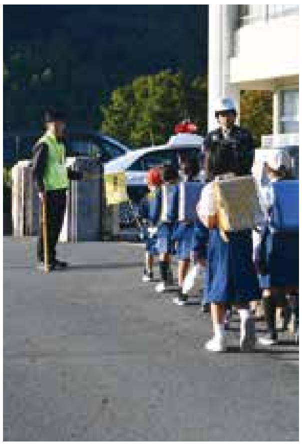
〇夕方から明け方にかけては、活動が活発になるため、特に注意しましょう。

〇散歩やジョギング時に、出会いがしらに遭遇しないために、クマよけの音(鈴やラジオ、スマホなど)を出しながら行動しましょう。

〇目撃しても、大声で叫んだりクラクションを鳴らすなどのクマを刺激する行動は、絶対にやめましょう。

クマを目撃したら

クマを見かけた場合や足あとなどの痕跡を発見した場合は、身の安全を確保した上で、ただちに山口市農業振興課有害鳥獣対策室（☎083-934-2666）までお知らせください。



トピックス2

幅広い世代のふれあいと交流の場「悠々ふれあいフェスタ」

10月25日(土)に、よしき悠々苑において「悠々ふれあいフェスタ」が開催されました。小雨の中での開催となりましたが、幅広い世代の方が多数来苑されました。

多彩なステージイベント

警察音楽隊の演奏により開会となり、良城小学校の合唱団による合唱、吉敷鳳翩太鼓、セサミーストリートダンスの他、新たに山口県立大学の学生によるコーラスや山口大学の学生による吹奏楽が行われました。

最後に行われたビンゴゲームでは、Nintendo Switch2など、多彩な景品が用意され、家族連れや若者で賑わいました。

良城小学校合唱団を祝福

良城小合唱団が、8月にシンフォニア岩国において開催された全日本合唱コンクール山口県大会において、金賞と特別賞の山口県教育長賞、朝日新聞理事長賞を受賞しました。

また、11月9日(日)に静岡県浜松市において開催される全国大会に出場することになり、合唱団の児童が登壇すると多くの方が押し寄せ、祝福しました。

様々なコーナーの設置

中央の広場においても、メダカすくいや射的、消防車の乗車体験など、子どもたちが楽しめるコーナーが数多く設けられました。

また、山口県立大学の畑部の学生による野菜の販売コーナーや色々な飲食のコーナーが設けられ、来場者がゆっくりとイベントを楽しんでいました。

地域活動を幅広く支援

よしき悠々苑では、「つなぐ」をテーマとして地域コミュニティ活動の支援に幅広く取り組んでおり、そうした活動の一環として、今年の4月に、ケアハウス悠々に幼児への絵本の読み聞かせを行う「ぶどうの木文庫」が開設されています。

祝福を受ける良城小合唱団

安心して心豊かに暮らせる地域づくり

10月29日(水)、地区社会福祉協議会は「小地区見守り訪問活動グループ員研修会」を行い、グループ毎に見守り活動の情報共有と情報交換を行いました。

ちびっこ運動会を開催

10月29日(水)、地域交流センターにて子育て講座「ちびっこ運動会」を開催しました。

母子保健推進員とつどいの広場「楽楽楽」が企画する恒例のイベントです。

用意された楽しい競技に、子どもたちは大喜びで走り回っていました。

吉敷の環境保全活動を事例発表

10月31日(金)、地域交流センターにて山口市快適環境づくり推進協議会主催の情報交換会が開催されました。

市内各地域の会員の皆さんに、吉敷地区環境づくり推進協議会の小林会長が地域の環境保全活動の取組を事例発表しました。参加された皆さんも熱心に質問をされて、有意義な情報交換会になりました！

にぎやかな良城クラブまつり

11月5日(水)、ニューメディアプラザ山口にて「良城クラブまつり」が開催されました。

山口警察署の詐欺被害防止の講演、演芸の部では歌や踊り、落語など様々な出し物が披露され、迫力ある出し物に魅了されました。

吉敷ふるさとまつりを開催

11月9日(日)、吉敷ふるさとまつりを開催し、約1，000名の来場がありました。当日は雨天となりましたが、今年で第50回の節目を迎え、企画委員をはじめとした地域の皆さんが盛り上げてくれました。

まず初めに白岡実行委員長の挨拶があり、まつりがスタートしました。

まつり開催の挨拶の様子

鴻南中吹奏楽部による演奏

今回は雨天のため、急遽ステージイベントを講堂にて実施しました。鴻南中吹奏楽部によるオープニング演奏、良城すみれ会の銭太鼓、石田&田中のオリジナルソングが披露され、まつりの開催を飾りました。その後、定期利用団体などが日頃の練習の成果を発揮し、拍手喝采でした。また50回を記念して「今西ゆうた」さんと「歌舞四季会社山口支店」というアイドルグループに特別出演していただきました！

ファンが増加中!?石田＆田中

特別出演！今西ゆうたさん

地域交流センター屋内会場では文化団体などが展示や体験コーナーを企画し、屋外ではグルメやゲームなどの出店がまつりを盛り上げました。

華やかな展示部門

行列！よしき鼓の会出店の様子

まつりの最後は、お楽しみ抽選会が行われました。

抽選会では4等～1等、特賞や、レノファ賞、JA賞、良城商工振興会賞、明治安田山口営業所賞など豪華景品が準備されました。当たった皆さんおめでとうございます。

特賞当選！お楽しみ抽選会

前日準備から多くの地域の皆さんにご協力いただき、当日は小雨が降る中でしたが多くの方にご参加いただきました。地域のみなさんで作り上げた第50回の記念に相応しい賑やかなまつりにすることができました。

来年度も引き続き吉敷全体で盛り上げていきましょう！

地域のチカラ

地域の治安維持・安心安全拠点「山口警察署」

平成31年2月に糸米から吉敷下東に移転した現山口警察署。地域はもとより他地域の安心安全拠点として治安維持に日夜努められています。

この度（7月～）警察署長も変わり、新体制となった山口警察署に、広報委員会では吉敷人が特に気になる項目を質問形式で取材をしてきましたので皆さんに紹介します。

高齢者や子どもたちの安心安全対策

広報委員会から質問

Q．高齢者や通学路における子どもたちの安心安全対策について教えて下さい。

山口警察署からの回答

A．高齢者の交通安全意識の醸成につながる情報や交通安全教育の提供を積極的に行うとともに、関係機関・団体等と連携し、高齢者が安心して安全に利用できる交通環境の整備等を進めています。

また、子どもの交通安全対策としましては、新入学児童等を対象とした参加・体験型の交通安全教室の開催や主要交差点において交通ボランティアの方と連携した登下校時の保護誘導活動に取り組んでいます。

人口増加地域の交通渋滞緩和対策

広報委員会から質問

Q．吉敷地域の人口は年々増加傾向ですが、交通渋滞への対策について教えて下さい。

山口警察署からの回答

A．警察による渋滞緩和対策として、周辺信号機を連動させ、通行車両がスムーズに通過できるようにしたり、時間帯に応じて信号の変わるタイミングを変えるといった方法をとっています。この他にも交通集中地域については、交通管制システムによるコンピュータ制御もなされています。

増加している詐欺電話対策

広報委員会から質問

Q．一向に後を絶たない詐欺電話被害ですが、何か考えや対策がありますか。

山口警察署からの回答

A．詐欺被害に遭わないためには、犯人と話をしないことが重要であり、固定電話対策として「＋（プラス）」から始まる国際電話の利用休止申込の支援を行うほか、ボランティアの方と協働で被害防止広報等を実施しています。

【広報委員の編集後記】

地元に安心安全拠点があるという事は、地域住民にとっては大変心強い事です。お困りごとがあれば、地元（近く）に安心して相談できる拠点がある事を念頭におきましょう。

読者発 なんでも広場

投稿募集中

投稿用QRコード

上のQRコードをスマホ等で読み取ってお気軽に投稿できます。

【問い合わせ】
☎083-922-3915

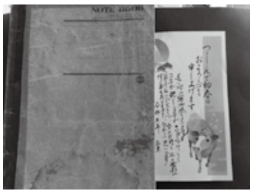
今年も君を想う年賀状

私には、忘れられない年賀状がある。それは、56年前に19歳で病死した叔父の友人からの年賀状だ。

家族に届く年賀状のなか、1枚の年賀状の送り主が気になり、母にどういう繋がりがあるのか聞いたことがある。

叔父は、広島の写真会社に就職して亡くなるまでの1年、その方と一緒に仕事をしていたそうだ。こんなことがしたい。あそこへ行きたい。みんなができることができないことも多かったが、19歳で一番幸せな時に人生の幕をおろした。最高の人生を生きたと、母が叔父のことを話してくれた。

宛名は違うが50年以上届いた年賀状、その友人と共に叔父が生きているような気がして嬉しかった。「今年も彼から年賀状が届いたよ」いつからか叔父に知らせるように仏壇に供えるようになった。



年賀状の交流ともうひとつ、叔父のことを知れるものが残されている。それは亡くなった年に書かれていた日記だ。人の痛みも、自分のことのように悲しみ、時には怒る。自分にしてもらった親切は忘れない。お返しをする。今の時代、他人を思いやることも薄れ、人に対する親切も無くなったように思う。

日記の最後には、「オレは人間にうまれてよかったと思う」と書いていた。19歳、人生は短かったが、50年以上も叔父を想い、年賀状を送ってくださった友がいる。

人の死や年賀状じまいでは、切れない絆に胸が熱くなる。

年の始め、誰を想おうか。

武波 里紗

今年もアサギマダラが飛来！

今年も、おおとり保育園園庭の横に咲いたフジバカマにアサギマダラが飛来してきました。

木崎U・N

ふれあいのまち 吉敷

地域のふれあいや交流活動に取り組んでいる地域づくり関係団体をご紹介

吉敷地区防災会

吉敷地区防災会は、吉敷地域住民の協働精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、風水害や地震、その他の災害による被害の予防及び軽減を図ることを目的として活動しています。

【防災組織】
会長には吉敷自治会会長、副会長には吉敷自治会副会長、吉敷地区地域づくり協議会会長及び吉敷地区社会福祉協議会会長が務めます。また、運営委員として吉敷地域内の様々な組織・団体・施設（学校等）から参加しています。
本部を設置し、本部長以下総務・企画・情報部、避難対策部、避難所支援部の各部長と部員、および町内会・自治会の防災連絡員が活動しています。

【活動内容】
吉敷地区防災会は、災害に強い吉敷地域をつくるために、また、大切な人の命を守るために次の事業を行っています。

1　防災知識の普及・啓発に関すること。
2　被害の軽減に向けた危険箇所の把握に関すること。
3　防災訓練の実施に関すること。
4　災害情報の収集及び伝達に関すること。
5　避難誘導促進に関すること。
6　避難所開設及び運営に関すること。
7　その他、目的達成のため必要な事項。

【今後の方針】
現在、啓発活動と調査研究活動を行っていますが、吉敷全地域の避難訓練や防災イベントを行ってまいりますので、是非、地域の皆様のご協力をお願いします。
（吉敷地区防災会　☎083-922-3344）

吉敷の福祉・健康 WELFARE AND HEALTH

ヤングケアラーと8050問題について

ヤングケアラーを知っていますか？

障がいや病気のある家族や幼いきょうだいなどのために、大人がするような食事の準備や掃除、洗濯といった家事、お世話や見守り、感情面のサポートを日常的にしている子どもの事を「ヤングケアラー」と言います。
子どもが家事や家族のお世話をすることはごく普通の事と思うかもしれませんが、本来なら勉強や部活、友人と使えるはずの時間をそれに充てるなど、大人のような重い責任を背負ってしまうことがあります。

＊山口県ヤングケアラー専門相談窓口
電話:0120-85-1177
メール:youngcarer@s-seikouen.com
電話・メールは毎日24時間受付

8050問題を知っていますか？

80代の親と50代の子が同居し、様々な問題を抱える社会問題のことです。特に50代の子が就職せず、または就職後に辞めて引きこもり状態となり、80代の親が高齢になっても経済的、生活的に支え続けている家庭が増えている現象をさします。
親の年金を頼りに生活が続き、親が介護状態になったり、亡くなると、子の生活が立ちいかなくなります。
核家族化が進み、地域から隠され深刻化してしまうことも少なくありません。
※包括支援センターふくまる相談室は世代や属性を問わない相談窓口です。早めにふくまる相談員にご相談下さい。

お問い合わせ先
鴻南地域包括支援センター
☎083-934-3333

よしき イベントカレンダー YOSHIKI EVENT CALENDAR 12月

P.0 掲載ページ　移動図書館「ぶっくん」15:10～15:50　青パト巡回日

日	曜	予定
1	月	●あいさつの日
2	火	
3	水	（青パト巡回日）
4	木	●町内会長会 18:30～
5	金	
6	土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」9:30～12:00
7	日	
8	月	
9	火	●広報委員会 17:00～
10	水	（青パト巡回日）
11	木	●地域づくり協議会運営協議会 18:30～（移動図書館）
12	金	
13	土	
14	日	●街道ウォークスタンプラリー P.2
15	月	
16	火	
17	水	（青パト巡回日）
18	木	●ふれあい型給食会
19	金	●子育て講座「クリスマス会」10:00～11:30
20	土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」9:30～12:00 ●えがお食堂よしき 11:30～
21	日	●手作り竹灯籠体験会（製作）13:00～16:00 P.2
22	月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」10:00～15:00 ●ペタンク同好会練習 9:00～
23	火	
24	水	（青パト巡回日）
25	木	（移動図書館）
26	金	
27	土	
28	日	●しめ縄づくり体験会 10:00～12:00 P.2
29	月	
30	火	
31	水	●手作り竹灯籠体験会（火入れ式）20:00～、23:00～ P.2

1月のおもなイベント

日	曜	イベント
7	水	春の七草がゆ 10:30～13:00 P.2
11	日	二十歳のつどい
12	祝	子ども会どんど焼き P.2
18	日	市駅伝競走大会

かけはし

私と「あいさつの日」

「あいさつの日」は、吉敷地区社会福祉協議会の事業のひとつで、小学校・中学校と連携して、毎月原則として第1月曜日に吉敷地域交流センター前、他7か所で通学中の児童生徒にあいさつをしながら見守りを実施しております。

私は、マックスバリュ前の通学路で、自治会の方、福寿会の方、民生委員の方と一緒に、通学中の子供たちに声をかけて3年近くになりました。

声をかける前から元気いっぱいに積極的に「おはよう！」とあいさつをする元気な子供たち、大きな声で丁寧に「おはようございます！」と、返してくれるいつもの女の子、中には恥ずかしそうにもじもじしている小さな女の子、その一生懸命な姿にいつも心打たれます。また、走って通りすぎる男の子たち、様々ですが、この子供たちからいつも「元気」をもらっています。

今では、この『あいさつの日』が私と子供たちとをつなぐ架け橋となっています。これからも「あいさつの日」での子供たちとの時間を大切にしたいと思っております。

広報委員　佐伯　映子

［発行・編集］
吉敷地区広報委員会（〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号）
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター総合支援担当（地域）
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター総合支援担当（行政）
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト
フェイスブック・インスタグラム
https://www.yoshikibito.com/
吉敷地区地域づくり協議会　検索